

2013年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	設備設計演習						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必須科目／(建築工学コース) 選択科目／(建築コース)						
担当者	齋藤健二						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備設計図の基本的事項を理解し、説明できる。 ・建築設備と建築躯体との関連、納まりについて理解し、説明できる。 ・機器容量、設備容量の計算ができる。 ・設備設計図を作成することにより、意図している建築設備内容を表現することができる。 						
内容	9月20日 9月27日 10月4日 10月11日 10月18日 10月25日 11月1日 11月8日 11月15日 11月22日 11月29日 12月6日 12月13日 12月20日 1月10日	第1回:導入講義:授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回:建築設備図作成の基礎、建築躯体図の裏トレース 第3回:建築躯体図の裏トレース 第4回:給水配管図、排水配管図の作成 第5回:給水配管図、排水配管図の作成 第6回:給水管径、排水管径の決め方 第7回:空調負荷計算の仕方 第8回:空調負荷計算書の作成 第9回:空調負荷計算書の作成 第10回:空調機器の選定の仕方 第11回:空調機器配置図の作成、空調配管図の作成 第12回:空調機器配置図の作成、空調配管図の作成、換気図の作成 第13回:系統図の作成 第14回:機器表の作成 第15回:図面、機器表未完成部分の作成					
成績評価基準	計算書(40%)および作成図面(60%)の内容を総合的に評価する。						
授業到達目標の達成度	定期試験は行っていないが設計図面および計算書から判断して目標は達成できたと考える。						
反省点	丁寧に教えたつもりが図面の作成時には理解していないことが多かった。						
来年度の計画	全体的に図面の完成度が低いので、図面作製に重点を置いた指導を行いたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	全科目の平均評価と比較してかなり低い評価となった。学生のコメントへの記入が無いので何が原因か分からない。丁寧に教えているが、学生も授業中のスマホ操作や途中退席などをしないなど真摯な受講態度を守って欲しい。						
履修登録者数	37名	定期試験 受験者数		合格者数	36名	合格率	97%